

つきたい力

情報活用能力 学びスキル

取組みの概要・ポイント

- すべての教員が「情報活用能力」について共通理解をもって、授業づくりを進めるしくみづくり
- 教員間で相互に「情報活用能力の育成」に視点を当てた授業参観交流を行うための取組み

具体的な取組みの内容

【生徒への価値づけ】

- 情報活用能力が人生において重要であることを、実例をもとに伝える。
- 中学生向けにわかりやすくまとめた「中学生版情報活用能力ステップシート」を作成・配付。
 - ➡ 生徒自身が中学校3年間で身につけるべき「情報活用能力」について理解し、日々の学習の中で「情報活用能力を高めていく」という意欲の向上につなげる。

【教員への情報活用能力をはぐくむ授業についての理解促進】

- 大阪府情報活用能力ステップシートをもとに教員間で情報活用能力について共通理解を図る。
- 情報活用能力の育成にむけた取組みは新しいもの、特別なものではなく、これまでの実践でも取り入れられてきたことを共有する。



【授業参観シートを大幅改定。情報活用能力の観点を新たに追加】

- 相互授業参観を通じて、これまでの実践の中にも「情報活用能力育成にむけた取組みの要素がある」ことを教員全員が再認識する。
- 授業参観の視点を共有することにより、情報活用能力の育成にむけた新たな取組みのアイデアを広げる。
- 職員室で、普段から「情報活用能力をはぐくむ」ための授業方法やワークシートの工夫などの共有。



生徒とともに情報活用能力を高める授業の構築

[illegible]

取組みを通しての子どもの変容

- ・情報を「調べる・整理する・活用する」力を意識して使うようになった。（生徒アンケート「1人1台端末などの情報手段を使って、情報を集めることができる」**肯定的回答4月90.0%→12月95.4%**、「1人1台端末などの情報手段を使って、情報を整理することができる」**肯定的回答4月83.0%→12月91.9%**）
- ・授業や課題で、目的に応じて情報を選び、まとめ、発表する姿が増えた。（生徒アンケート「1人1台端末などの情報手段を使って情報をわかりやすく伝えることができる」**肯定的回答4月78.0%→12月84.5%**）
- ・情報を活用する学習に主体的に取り組み、情報の信頼性や使い方を考える習慣が身についた。

【ワークシート】
・情報活用能力ステップシート（中学生版）
・授業参観シート（情報活用能力育成）

